

格付けとは！？～日本国債の格下げを受けて～

ファイナンシャル・プランナー 水野圭子

今年5月、格付け機関のフィッチ・レーティング（以下 フィッチ）は、日本国債の信用度を示す格付けを一段階下の「A+」（シングルAプラス）に引き下げました。これは日本の債務残高が拡大し、財政再建に向けた取り組みが遅れているためと言われ、2002年11月以来の約9年ぶりの引き下げです。去年は欧州不安が広がり、格下げという言葉を目にする機会もありましたが、そもそも格付けとはどういうものなのか、概要を見てみましょう。

◇格付けとは！？

格付けといってもホテルのランク付けから銀行や保険会社の格付けなど、様々あります。債券の格付けは、発行体が元本と利息を確実に支払えるかどうかの企業の信用度を、第三者機関の格付け機関が独自の調査をもとにランク付けしたものです。

以下の表は格付け機関「格付投資情報センター」の表示例で、AAA(トリプル A)に近づくほど信用度が高く、Cに近づくほど信用度が低くなります。一般にBBB以上は投資適格債と呼ばれています。

格付け表示例 ～格付投資情報センター(R&I)の場合～

高 ↑ 信用力 ↓ 低	AAA	信用力が最も高い
	AA	債務履行の確実性は非常に高い
	A	債務履行の確実性は高い
	BBB	債務履行の確実性は認められるが、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある
	BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない
	B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
	CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
	CC	債務不履行に陥る危険性が極めて高い
	C	債務不履行に陥る可能性が極めて高い

しかし同じ日本国債の評価でも、格付け機関によって異なります。今回格付け機関フィッチが日本国債の格下げをしましたが、実は去年1月には別の格付け機関「スタンダード・アンド・プアーズ」が、8月には「ムーディーズ」が、いずれも一段階引き下げをしてい

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

ました。

なぜなら格付け機関はできるだけ公平・中立な評価を行なうため、複数のアナリストの意見をもとに信用格付けを行います。人それぞれのポリシーや見解の相違が格付けにも影響してしまうからだそうです。

では、日本における格付け機関を確認してみましょう。

<日本における格付け機関（現在5社）>


- ◆スタンダード・プアーズ（S&P）・・・<http://www.standardpoors.co.jp>
- ◆ムーディーズ・インベスターズ・サービス・・・<http://www.moodys.co.jp>
- ◆格付投資情報センター（R&I）・・・<http://www.r-i.co.jp/jpn/>
- ◆フィッチ・レーティングス・・・<http://www.fitchratings.co.jp>
- ◆日本格付研究所（JCR）・・・<http://www.jcr.co.jp/>

◇日本の格付けを他国と比較すると？

日本の格付けが世界の中でどの位の位置づけなのかを、格付け機関フィッチを参考にしてみましょう。一番高い「AAA」はアメリカ、イギリス等となり、日本はイスラエルと並んで上から5番目で、財政危機が深刻なギリシャは17番目の「CCC」となっています。

フィッチによる格付け

2012.5.22

AAA	アメリカ イギリス フランス ドイツなど
AA+	ニュージーランドなど
AA	韓国 ベルギーなど
AA-	 中国 チリ サウジアラビアなど
A+	日本 イスラエル エストニアなど
A	スペイン マレーシア ポーランド
A-	イタリア タイ
BBB+	アイルランド メキシコ ペルーなど

世界の各付けを見ると日本のすぐ下は、欧州不安で問題視されているスペインやイタリアであり、これらの国の格付けが日本と大差ないところにあることがわかります。

国債の格付けは、将来的にその国の国債が債務不履行になる可能性をランク付けしているものです。もし日本国債が今後も格下げになったらどうなるのでしょうか？

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

国の信用力がなくなり、外部の投資機関から見放される可能性があります。また暴落国債を保有している日本の銀行や金融機関の資産が激減し、政府は新たな国債を発行しても買ってくれる先がなくなり、財政が回らなくなり、もしかしたら破綻の恐れもゼロではないからです。

◇格付けをどう活用する？

定期預金や株式や債券で運用する、そして保険に加入するにしても、金融機関をどこにしようかという選択は重要です。なぜなら、株式や債券などの場合、発行先の企業が倒産して紙切れ状態になってしまうこともありえるからです。そんな時に健全性を見る上で参考になるのが格付けです。

BBB 以上の評価をしているかの確認は大切です。BBB 以下のジャンク債などは利回りが高いですが、デフォルトするリスクも高くなるのを認識しなくてはなりません。

また、格付けも変化します。長期投資する際などは、半年もしくは1年に1度でも定期的に格付けを確認することをお勧めいたします。（上記格付け機関のHP参照）もし購入時には高い格付けでも、年々低下していくようであれば、見直す必要もあるかもしれません。